



# 森のなかま

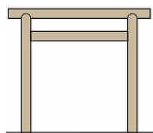
2014年2月号

NO. 70 (継続215号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL046-280-4101・FAX046-280-4102



## 山の神祭 開かれる平成26年1月12日(日)

< 森林文化部長 井出 恒夫 1期 >

山の神祭は森林文化部会が運営を担当しています。当日の様子や、準備の様子等を紹介します。

**大掃除** 昨年末の12月23日、4名の部員で大掃除を行いました。祠の内部や外側を雑巾がけし、「山神権現社」の銘がある御神体(板)を清めました。

**準備** 山の神祭の当日、祭事の1時間前に集合し、8名の部員で準備を行いました。

しめ縄に紙垂(しで)を取り付け、玉串を作成し(榊(サカキ)に紙垂をつける)、お供え物の設置、直会(なおりい)で使う盃の整理、スルメやめざしを焼く炭火の準備など、やることは多くあります。一通り準備が終わったころ、参列する会員が到着しました。

**祭事** 式次第に沿い、お払いの儀→祝詞奏上(のりとそうじょう)→玉串奉奠(たまぐしほうてん)→直会、の順に祭事を執り行い、この一年の活動の安全を祈願しました。

**直会** 祭事の直会は礼講として神聖に執り行いましたが、祭事終了後の直会は無礼講です。奉納されたお酒や、縁起もののスルメやめざしをいただき、会員間の親交を深めました。お酒の量も多く、最後は皆さんすっかり出来上っていた様です。そして午後の13期生歓迎の会員の集いに向かいました。

準備:紙垂(しで)の取り付け



式次第

| 山の神祭式次第 |         |
|---------|---------|
| 一、開会の辞  | 一、開会の辞  |
| 二、一同拝礼  | 二、一同拝礼  |
| 三、献饌の儀  | 三、献饌の儀  |
| 四、お払いの儀 | 四、お払いの儀 |
| 五、祝詞奏上  | 五、祝詞奏上  |
| 六、玉串奉奠  | 六、玉串奉奠  |
| 七、直会の儀  | 七、直会の儀  |
| 八、一同拝礼  | 八、一同拝礼  |
| 九、閉会の辞  | 九、閉会の辞  |

祝詞奏上(のりとそうじょう)



直会(なおりい):休憩棟前



## 新会員32名歓迎の会員の集い盛況に開催される

1月12日(日)

## &lt; 事務局長 竹島 明 3期 &gt;

第1級の寒波に見舞われた新春の12日(日)、32名の13期生新会員を歓迎する「会員の集い」が、山の神祭に引き続く午後、松田町「わたや」で総勢77名の参加を得て開催されました。当日はトラストみどり財団から初山希望さんの参加をいただき、会員の集いに花を添えていただきました。

森本理事、上宮田理事の司会・進行のもと、6期齋藤武久さん(コロンビア専属吟詠歌手)には13期生加入を歓迎する詩吟「宝船」ならびに「13期生入会を祝す」の2題を吟じていただきました。

また3期高橋恒通さん(素人落語家:花鳥亭三太)には13期生歓迎の意を込めて落語を一席披露して頂きました。そして13期生の皆様からは自己紹介を兼ねて入会の抱負を一人一人語っていただき、賑々しくも盛況な午後のひと時を過ごすことができました。

ご参加いただきました会員の皆様ならびに準備にかかわっていただいた森林文化部会、事務局の皆さんのご協力に感謝申し上げつつ報告といたします。

集い開催挨拶



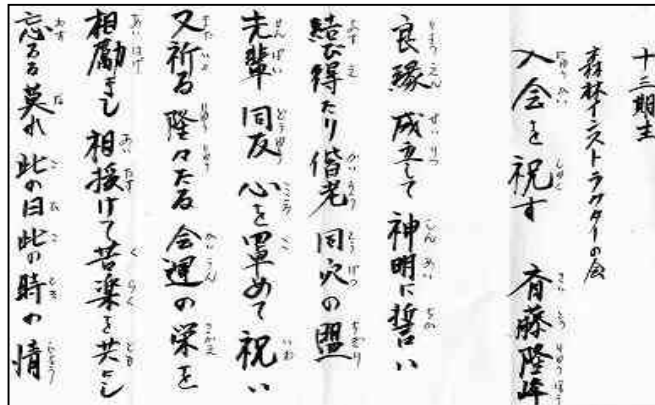
13期生の皆さん(一部の方)



個性豊かな13期生の御挨拶 (写真はほんの一部の方)



齋藤さんの 歓迎詩吟熱唱 と 詩文



高橋さんの歓迎落語

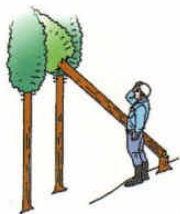


(写真撮影: ページ 1 1期 井出氏、広報部 鈴木(松)、ページ 2 広報部 鈴木(松)、松本)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』支援団体としても取組んでいます。  
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。





平成25年度『第3回ブラッシュアップ研修(間伐)』(公財)トラストみどり財団主催  
日時: 2013年12月14日(土) 9:00~15:30、快晴、 場所: 相模原市緑区鳥屋(奥野)

掛け木!! ⇒ サア、どうする?

< 波多野 康男 11期 >

厚木駅より1時間ほどかけて相模原市緑区鳥屋の鳥屋造林組合の管理する現場にバス移動。到着後に道路で(公財)かながわトラストみどり財団の古館さんの司会でオリエンテーション。内海課長、山主代表の挨拶、講師の相馬造林の相馬氏から今日の指導者の紹介・安全な間伐方法についての説明を受ける。



急斜面を登り現場へ

参加者42名は6班に分かれ、道具(大ノコギリ、フェリングレバー、スリング、滑車、ロープ、ロープ引っ掛け棒等)を受け取り入山。胸高直径10~25cm程の檜(ヒノキ)の植林されたやや急な南面の斜面。枝打ちはされているようではあるが、間伐の跡は少ない。



オリエンテーション

入山してすぐの場所で掛け木処理のデモンストレーション。わざと掛け木にしてフェリングレバー、ロープ、スリング/滑車を用い掛け木処理。



わざと掛け木にして



ロープ、スリング/滑車の使用



フェリングレバーでの処理



講師の直接指導での作業

デモンストレーション後は各班毎(6班)に分かれ実習地に展開。まずは選木と伐倒方向について意見調整。ロープを準備して伐倒開始。受け口を作るのにやや苦戦。2本目では受け口の修正作業を実施。標準的な径の木を午前・午後各1本処理。2本ともほぼ計画通りに倒せ、2本とも予定通りに掛け木に。フェリングレバーとロープを併用し、またツルの切り込み等を加えて伐倒。右に回して一段落として切り離し、まだ掛け木状態なので次は下側にロープを掛け変えて作業をして掛け木から脱出。各班とも似たような状況。各々が持っている知恵と経験をだしながら、時には相馬造林の方の指導を頂き、有意義なブラッシュアップになった。



昼食・休息

しかし「木の下側(谷側)から作業をするな! 合図を忘れるな! もっと離れろ!」等の安全に係わる注意を意識しての作業は、まだ不完全。

作業を終了し下山、道路で質疑応答。広葉樹の伐倒等の Q&A があつた。最後に講師から、呉々も基本を忠実に遵守し、安全を確保してインストラクター業務を行なう様にとの締め言葉の言葉を頂き研修を修了。初冬のピリッとした空気の気持ちのよい穏やかな快晴の一日だった。

(当日スケジュール)

9:00~10:15 バス移動、現地到着後オリエンテーション  
10:15~10:45 講義 安全な間伐方法について 相馬氏  
10:45~12:00 間伐実習  
12:00~12:30 昼食・休息  
12:30~14:00 間伐実習  
14:00~14:30 Q&A、  
14:30~15:30 バス移動、解散

ニュースレター「しずくちゃん便り」

ホームページは下記URLで見ることができます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

かながわの水環境の  
保全・再生をめざして



(写真撮影: 広報部 松本)

## 私の認識

## 野鳥その118

高橋 恒通

ガンカモ類の紹介は概ね済んだので、今月は、これまで紹介してない“県鳥”についてご案内いたします。

まずは三重県の県鳥で、留鳥のシロチドリ(漢和名:白千鳥、英名:Kentish Plover、体長L=17 cm)です。体色は♂♀ほぼ同色、額と眉斑が白色、前頭部と過眼線が黒色、胸前から体下部は白色、背面は全体が淡褐色です。

棲息環境は河口、干潟、河川、砂浜や沿岸の造成地などです。行動様式は、チョコチョコ歩き廻り、甲殻類やゴカイなどを採食し、繁殖は川原や砂浜などの浅い窪みを産卵場所として行います。

因みにシロチドリとよく似た体色のチドリの仲間に、留鳥のイカル



チドリ(漢和名:斑鳩千鳥、英名:Long-billed Ringed Plover、体長L=21 cm)と夏鳥のコチドリ(漢和名:小千鳥、英名:Little Ringed Plover、体長L=16 cm)がおります。そこで、シロチドリとの識別ポイントを簡単にご説明致します。即ち、コチドリは黄色のアイリングに首に太く黒い輪、イカルチドリは体長が少し大きく首に黒い輪、シロチドリは首の黒い輪が胸前で巾広く切れている点です。

続いては京都府の府鳥で留鳥のオオミズナギドリ(漢和名:大水薙鳥、英名:White-faced Shearwater、体長L=49 cm)をご案内します。

体色は♂♀同色、背面全体が灰褐色、下面全体が白色、そして頭頂部が褐色と白色混ざりの「胡麻塩頭」です。脚は濁桃色、嘴は黄白色。

我国で観察できるミズナギドリ科の中では最大の野鳥だと認識しております。

繁殖期以外は海上生活です。

行動様式は、羽ばたきもするが、広い翼面積を利用し、海面すれすれを波の上下に合わせ



て帆翔(ソアリング)や滑翔(グライディング)をします。採食は細長く尖った嘴を使って、魚やイカを浅い潜水で

行います。

厳冬期以外の当県下では、真鶴岬、江ノ島、城ヶ島などでも観察できますが、他にハシボソミズナギドリ(体長L=42 cm)、ハイイロミズナギドリ(体長L=44 cm)なども混ざる為、同定の難解な野鳥だと認識しています。

私は大磯の照ヶ崎でアオバト観察の折に先輩から、「頭が胡麻塩だったらオオミズ、それ以外ならハシボソかハイイロだよ」と言われて探しましたが、私の双眼鏡の解像力が届かない距離だったので分かりませんでした。

京都府が府鳥にしたのは、冬季以外の舞鶴湾で数多く見られるのでは…と推察しています。

次は、広島県の県鳥で冬鳥のアビ(漢和名:阿比、英名:Red-throated Diver、体長L=61 cm)です。英名の根拠は、夏羽の時の喉下に赤褐色斑が現われるからです。

体色は♂♀同色、背は暗灰褐色地に白斑が点在して胡麻塩模様、喉下から下面は濁白色、先の尖った黒灰色の嘴が僅かに反って見えます。棲息環境は主に沖合ですが、海が荒れると湾内に来るそうです。



アビが広島県の県鳥に指定された理由は、瀬戸内海の漁師は昔から、海上にアビの姿を見付けると、その辺

りにはイカナゴ(地方名コウナゴ)の幼魚の群が居る事を経験的に知っていて漁の手助けになる鳥だからです。但し、アビは近年その数を減らしており、瀬戸内海でも同じアビ科のシロエリオオハム(体長L=65 cm)や、オオハム(体長L=68 cm)の方が多く見られるそうです。

アビとの識別は、どちらも寸法が大きく、嘴は反らず、背面に胡麻塩模様なしです。尚漁師にとってはアビと同じく有用鳥です。

因みにイカナゴの佃煮は大変美味です。

◎日本の野鳥, 山溪カラー名鑑, 編・高野伸二, 解説・浜口哲一他3名, 山と溪谷社

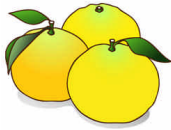
◎日本の野鳥, 山溪ハンディ図鑑 7, 写真・解説/叶内拓哉, 分布図・解説協力/安部直哉, 解説(鳴声)/上田秀雄, 山と溪谷社

◎グランド現代百科事典 2, 学研

◎ (イラスト) 広報 大塚 晴子



## 活動短信



今回の掲載は  
H25.11.23～11.30です。  
(一部それ以前があります)  
投稿頂いた中には、紙面の都合上、次号以降の掲載になるものもあります。  
予めご了承下さい。

## ◆ 富士通エフ・アイ・ピー株式会社

## 間伐・自然学習

日 11月9日(土)、晴れ

場 足柄上郡山北町世附

「富士通エフ・アイ・ピーの森」

参 39名

県 後藤様

イ L 加藤⑥、須長⑥、相原⑥、大道⑥、戸谷⑥、  
武本⑦、松山⑩、角田⑩、前田⑩

高速道路の渋滞も無く、予定より早く参加者のバスが世附へ到着したので、開会式を30分繰り上げて活動を開始する。

参加者は間伐体験主体のパワフルグループ6班と間伐体験と自然散策を行う森林満喫グループ1班の7班構成に分かれ、インストラクターの先導で「富士通エフ・アイ・ピーの森」へ入りました。

森林満喫グループの1班は1時間程で2本を伐倒して自然散策を楽しむ「箒杉(ほうきすぎ)」へ車で移動。パワフルグループは急斜面での掛木処理にも動じずに各班が2～3本を伐倒して、予定通り12時30分に間伐体験を終りました。

参加者は活動時間が30分長くなりましたが疲れた様子もなく、紅葉が始まった丹沢湖畔の景色を楽しみながら昼食が準備されている丹沢湖ロッジへバスで向かいました。

(記 戸谷 和男 6期)

## ◆ 富士通グループ・神奈川

## かながわ水源の森づくり(枝打ち)

日 11月23日(土)11:20～12:20、晴れ

場 塚原ボランティアフィールド「はじまりの森」

参 参加者28名(申込者32名)

スタッフ 瀬戸様 他

イ L 井出①、滝澤⑤、伊藤⑦、鈴木⑧、園田⑨

紅葉のピークで絶好の天気。参加者のバス(横浜から)は渋滞で大幅に遅れ、実質活動時間は30分弱と短

いものになってしまった。(昼以降は参加者のみで21世紀の森で活動)

「遅れる」との連絡が入ったため、事前に設定したエリアを見直し、面積を小さくして実施した。活動は11年生のヒノキ林の1回目の枝打ち。枝が密集して薄暗かった林内が、枝打ちすることで明るく開放的になることを参加者に実感してもらい、短い活動時間だったが、充実した時間を過ごしてもらえたと思う。活動後の皆さん、晴れ晴れとした良い顔でした。

(記 井出 恒夫 1期)

## ◆ キリンビール株式会社

## パートナー林保全活動(間伐)

日 11月23日(土)10:45～13:30、晴れ

場 やどりき水源林Bコースキリンビールの森

参 横浜工場社員80名(同行看護師を含め)

県 後藤様

イ L 島岡③、渡辺③、足立④、柏倉④、宮本④、  
戸谷⑥、有坂⑧、小沢⑨、一重⑪、澤村⑫

好天に恵まれ秋色に染まるやどりきはユースンへ向かう人、鍋割へ向かう人など多くの人で賑わいを見せていました。好天のため高速道路も渋滞を来し、キリンビールの社員の方々を乗せたバスもやどりき到着が遅れ、1時間遅れでプログラムがスタートすることになりました。

工場長、県自然環境保全センター後藤様の挨拶に続いてインストラクターリーダー島岡さんより現場まで途中滑り易い所があるので気をつけて行くこと、隣の班と接近して作業することになるので声掛けを忘れずに、との注意を受け安全チェック表により各インストラクターが服装等のチェックを行い小沢さん指導で準備体操を行い道具を持って現場へ出発。

1班8～9名。インストラクター1名/1班。9班体制。対象木はヒノキ、スギ30年生(?)、樹高13～15m、胸高直径15～20cm。間伐本数は1班2本まで。作業の進め方、道具の使い方、作業上の安全を確認して作業開始。伐倒時はロープを使用。

鋸の扱いに苦戦する人も。1本切った班、2本切った班、それぞれであったが怪我、事故等なく作業前と後の採光を確認して本日の作業を終了。皆さん爽やか表情で山を下りてきました。

(記 澤村 徹 12期)



### 丹沢の自然再生に取り組む

丹沢大山自然再生委員会ホームページでご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

#### ◆ 県民参加の森林づくり (間伐)

日 11月23日(土・祝)8:30～14:00、晴れ

場 湯河原町鍛冶屋地区 町有林

参 大人60名+子供1名(申し込み 73+1)

財 内海課長、鳥海様 看 小林様

イ L 大澤⑩、国分③、堀江④、大道⑥、坂齋⑦、武者⑦、三浦⑧、飯澤⑨、内野⑨、水津⑨、松山⑩、宮下⑩、湯浅⑪、吉田⑪、石川⑫、西出⑫

工事の為本日の東海道線、東京～横浜間運行中止。川崎からの参加者1名集合に遅れ、後からタクシーで林道入口まで。内海課長の指示で現場に来ていた地元森林組合の軽トラックが出迎え、無事合流。

休日・好天にも拘わらず当日欠席13名。構成人数に狂いが出た班もあり、班リーダーの判断で3グループに分ける予定を2グループにとどめた班もあった。

源頼朝ゆかりの「しとどの岩屋」入口を横目に見て、白銀林道に入り3km、南東斜面の33年生ヒノキ林が活動現場。過去に人の手が入った形跡はあるものの、時の経過とともに樹冠はふさがり、懸り木になること必至。

細く枝の少ない木を選んで確実に伐倒するグループ、自信満々のグループは太いものを選んで懸り木にしてしまい、四苦八苦。

昼食後、「ヒノキとヒノキチオール」のミニ講座、午後2時には湯河原駅にて無事解散した。

尚、私たちの活動現場の最上部では、同時開催された森林部会の「プロの林業家指導による間伐研修」も行われていた。

(10期 大澤 斗志郎)

#### ◆ トヨタプリウス森木会活動

日 11月24日(日)8:00～16:00、快晴

場 やどりき水源林

参 募集参加者28名(内子供6名)

トヨタスタッフ 黒沢様、佐藤様、寺嶋様、他6名

看 荻原様

県 武田様、坂井様

イ L 福島⑪、菊池①、森本⑤、若林⑦、

有坂⑧、久保⑧、山下⑪、吉田⑪

今日は朝から雲ひとつ無い快晴。絶好の活動日だ。

冬の凜とした空気がやどりきの森に満ちている。

参加者はトヨタプリウスのオーナーさま。開始の時点で、結果的に28名となった。

今日のプログラムは、間伐体験を2時間、森林癒し体験を1時間、クリスマスリース作りを1時間。

盛りだくさんの内容。触りを楽しんで体験してもらおう企画。間伐では手入れの必要性の説明し、手鋸で木を切り倒す体験。また鹿と人間との共生の話。

癒やしでは、地面に寝転んで樹々のゆらぎと青空を眺め、ハンモックに揺られせせらぎの音に耳を傾け、日光とハーブティーの温かさを味わう。

杉の葉や松ボックリ、ドングリなど自然の材料を使ってクリスマスの飾りを作成。嬉々として楽しんで一生懸命に個性あふれる作品を作っていた。

自然に触れ考える時間を体験された一日であった。これを機に自然を味わう時間を今後も持って頂けたらと期待しつつ。

(記 吉田 郁夫 11期)

#### ◆ 25年度川崎市里山ボランティア育成講座・第6回

日 11月30日(土)、晴れ

場 川崎市栗木山王山特別緑地保全地区  
黒川野外活動センター

参 30名(里山ボランティア育成講座参加者)

スタッフ 川崎市公園緑地協会 富田課長、北沢様、野牛様

イ L 山崎⑫、松崎⑧、渡部⑨、  
篠原⑨、高橋⑨、門沢⑫

本件は(公財)川崎市公園緑地協会が企画した「里山ボランティア育成講座」6回/年の最終回講座として開催されたものです。本講座は受講生37名が6回の講座で川崎市内の公園、特別緑地保全地区等を利用し、計画から安全、管理計画等の学習と実技講習を行い、里山への関心、活動を積極的に担う人の人材育成を目的とした活動です。

今回の活動は、川崎市麻生区にある「栗木山王山特別緑地保全地区」で、散策径路の構築です、竹の入り込んだ広葉樹林を、元の植生環境に戻す実践cs、将来に向けた公園の維持管理に基づいて実践しました。

午前の体験作業は丸太階段の構築であるが、管理地区の色々な場面で応用出来る技術なので、神奈川

県で実施されている方法を県公園事務所日高様指導の基、学びました。

今後、川崎の管理地区ではこの方法による階段や土留めの作成補修が行われていきます。

午後は、管理地区より切り出した竹を利用して正月向けのクラフト作成班、植林の方法と体験班に分かれ作業を実施、その後「都市における緑の役割と里山ボランティア」をテーマに講義を受けた後、終了式を行い、講座を終了した。幸いにも怪我も無く無事に終了することが出来ました。今後講座の修了生が各地区で活躍してくれることと思います。

((記 山崎 博 12期))

#### ◆ 株式会社日立システムズ

##### クリスマスリース作りと間伐材丸太切り体験

- 日 11月30日(土)8:30~14:30、晴れ  
 場 やどりき水源林  
 参 59名(大人35名、子ども24名)  
 イ L 森本⑤、鈴木⑤、白畑⑦、小笠原⑩  
 時田⑩、大塚⑪

昨年と同様クリスマスリースづくりがメインの活動。鈴木さんの森林講話のあと、リース材料となるスギ採取班と飾り付け採取班に分かれて出発。

約1時間後やどりきの広場に戻ると、そこは陽だまりの中。早速、リースづくりに突入。午後に渡り、皆さん立派なクリスマスカラー(赤・緑)のリースが出来上がっていた。ツルと木の実については、NPO法人四十八瀬川自然村さんと丹沢大山自然再生委員会事務局(自環保)他のご協力をいただいた。

次回は、打診のあった杉玉作りにも挑戦してみたい。

(記 森本 正信 5期)

#### 略語の説明

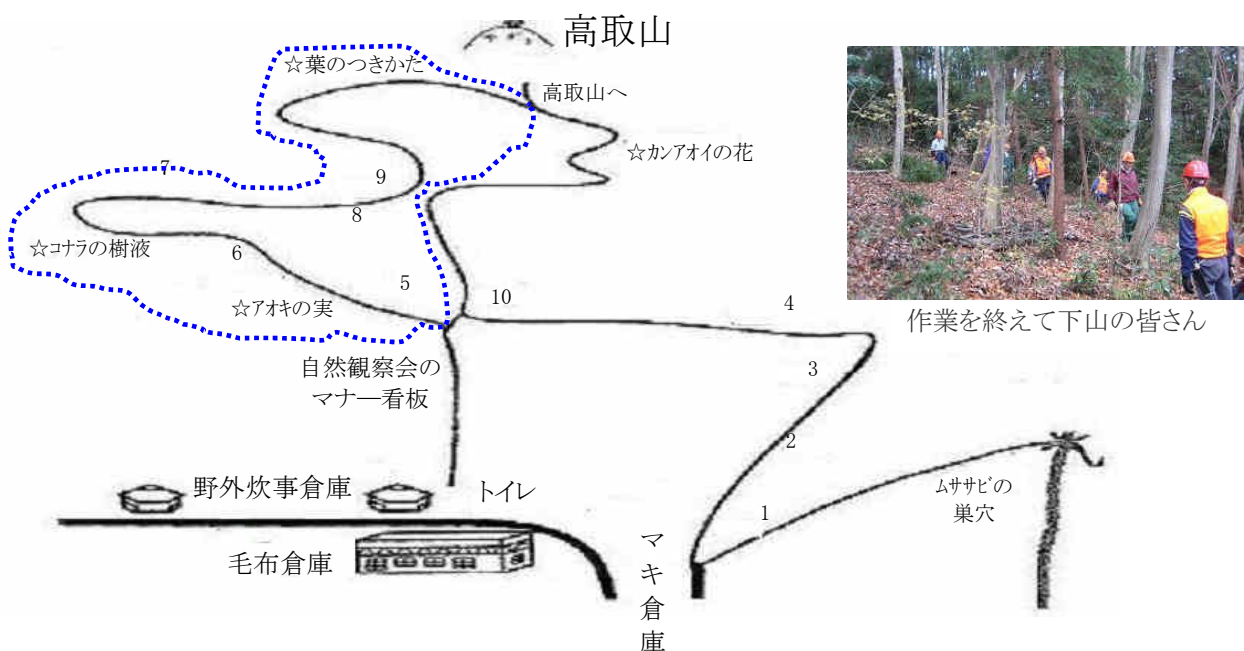
- 日:日付、場:場所、参:参加者、  
 県:(神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課)  
 財:((公財)かながわトラストみどり財団) 看:看護師  
 スタッフ 例 小田原市森林組合・XX様  
 例 川崎市公園緑地協会・XX様  
 イ:インストラクター(○数字:期) 研:研修枠

#### 森林部会自主活動 『愛川ふれあいの村 林内整備』

2013年12月22日(土)9:30~15:00、晴れ

森林部会の有志一同で愛川ふれあいの村の自然観察路とその周辺の倒木や枯損木の処理、小低木の伐採などの林内整備、道路整備等を行ないました。

.....内が今回の活動対象エリア No は質問・案内板



参加者: 菊池①、相馬⑤、滝澤⑤、佐藤⑤、小野⑦、塩谷⑦、武者⑦、村井⑨、内野⑨  
 大澤⑩、大橋⑪、松永⑪、松本⑪、西出⑫

(記&写真: 松本)



## やどりき水源林 ミニガイド

### 1月のトピックス

成長の森の雪景色 1.14.撮影



### 2月の水源林

暦の上では春のさざし。やどりきの麓の里ではロウバイが満開です。

### 「森の案内人」情報

(12月 1月 2月 は休止です)  
(春でのお越しをお待ちしています)  
3月より

●実施時間:毎週土曜・日曜・  
午前10時・午後1時、1～2時間程度

●集 合:水源林入口ゲート前  
●内 容:森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料  
\*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ:(公財)かながわトラス  
みどり財団 TEL:045-412-2255  
携帯:090-8580-5348  
FAX:045-412-2300

●ホームページ:<http://www.ktm.or.jp>

●E-mail:midori@ktm.or.jp

### ●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35 分。  
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

## イベント情報 & ご案内

### 「森林と水」写真コンクール

郵送での応募

応募〆 3月15日

〒252-0155 神奈川県相模原市緑区鳥屋 2878  
一般社団法人神奈川県森林土木建設業協会  
事務局 〒243-0816 神奈川県厚木市林 4 丁目 12-37  
カメラのキタムラ 厚木・林店「森林と水」写真コンクール係」

### 「森林と水」写真コンクール 概要

主催:一般社団法人神奈川県森林土木建設業協会(お問い合わせ:042-785-0511) 協賛:カルのキタムラ  
後援:神奈川県・神奈川県森林協会・神奈川県森林組合連合会・一般社団法人全国森林土木建設業協会  
表彰:神奈川県知事賞/1点(賞状・副賞)、最優秀賞/1点(賞状・副賞)、優秀賞/3点(賞状・副賞)、佳作/数点(賞状・副賞)



### ◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>  
松本 保

Mail: [matsutamo@jcom.home.ne.jp](mailto:matsutamo@jcom.home.ne.jp)  
Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

〒221-0865  
横浜市神奈川区片倉 2-1-50  
Tel: 090-6150-6173

Mail: [s\\_akasaki-k\\_instructor@live.jp](mailto:s_akasaki-k_instructor@live.jp)

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037  
横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17  
Fax: 045-301-9401  
電話連絡先: 090-7962-3168  
Mail: [matsutamo@jcom.home.ne.jp](mailto:matsutamo@jcom.home.ne.jp)

【別冊】水口 俊則

〒250-0871  
小田原市下堀 123  
Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: [minagold109@kjd.biglobe.ne.jp](mailto:minagold109@kjd.biglobe.ne.jp)

【CCで】竹島 明

〒238-0045  
横須賀市東逸見町 3-7  
Tel/Fax: 046-825-9281  
Mail: [2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp](mailto:2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp)  
原稿は随時受け付けています。

### 編集後記

★冬になると浜で貝殻拾いや海藻、鉱物探しが楽しみです。(赤崎)

★先日、湯河原農林水産祭でグッズ販売しました。手作りクラフトは珍しいのか、子供に音の鳴る竹笛やバードコードや、竹トンボが大人気。元気に遊ぶ姿に癒されました!! (大塚)

★今、風邪ひき防止のためマスクをしています、春には花粉症対策もあり

これだと半年間 マスクをかけっぱなしですね。(水口)

★八百屋の叔母ちゃんは国語の先生、魚屋の親爺は算数の先生、猫のグーチャンは生物の先生、自分の身近な人々を先生と呼ぶコマーシャルですが今年はこの精神で! (小沢)

★ソチオリンピックが開催されます。札幌オリンピックはテレビで。長野オリンピックは現場で観戦。夏に白馬のジャンプ台で上から下を見ると足が凍ってしまいます。アスリート達はまさに鳥人(超人)ですね。(松本)

### ◇ 年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

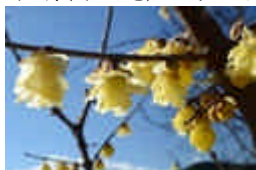
かながわ森林インストラクターの会宛まで購読料年2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。  
(頒 価 200円 送料共)

編集人: 松本 保  
事務局: 竹島 明  
広報部: 小沢章男 水口俊則  
鈴木 朗 鈴木松弘  
大塚晴子 加藤愛子 赤崎さほり  
支援  
伊藤恭造 川森健司 谷川 克  
一時休み 真貝 勝 徳岡達郎

### 松田町寄(やどりき)ロウバイまつり 1月18日(土)～2月23日

松田町 寄(やどりき)のロウバイ



会場:松田町寄宇津茂地区  
開園時間:9～16時  
お問い合わせ先/松田町環境経済課  
Tel.0465-83-1228

山や散策、ボランティア活動の  
お帰りにお越しくださいませ!!  
暖かい飲み物や食べ物が待っています。

山 麓 の オ ア シ ス ②

こ ま ち

小田急 新松田駅  
踏み切り際

緑の募金箱協力店